

公益財団法人京都府スポーツ協会の沿革

昭和3年1月19日	「京都体育協会」発足・結成（ステーションホテル） 会長に竹上藤次郎氏就任（第1代）
昭和18年4月	京都体育協会・大日本体育会京都府支部に併合 会長・支部長(知事)安藤狂四郎氏就任（第2代） 会長（知事）雪沢千代治氏就任（第3代）
昭和19年	会長（知事）新居善太郎氏就任（第4代）
昭和20年	会長（知事）三好重夫氏就任（第5代） 会長（知事）木村淳氏就任（第6代）
昭和21年	会長 木原均氏就任（第7代） 京都スポーツマンクラブ結成 「三色旗」を体協旗と制定 第1回国民体育大会分担開催
昭和23年	会長 佐伯巖氏就任（第8代）
昭和25年	会長 大谷光暢氏就任（第9代）
昭和26年10月	財団法人京都スポーツ振興会設立 理事長 山科喜一氏就任
昭和27年	会長 竹上藤次郎氏就任（第10代 再任）
昭和32年	会長 湯浅佑一氏就任（第11代） 国民体育大会京都府選手団のユニフォーム制定 近畿各府県体育協会会長協議会の開催
昭和34年	スポーツ指導者制度発足
昭和37年	京都府スポーツ振興審議会委員 湯浅佑一氏、藤田静夫氏
昭和37年6月	日本スポーツ少年団設立
昭和38年4月	京都府スポーツ少年団結成 本部長 藤田静夫氏就任
昭和38年10月	全国スポーツ少年団大会開催（山梨県）
昭和39年10月10日	東京オリンピック開催
昭和42年	国民体育大会京都府選手団ユニフォーム改定
昭和43年	附属トレーニング場（西京極）完成
昭和45年	広報誌「三色旗」創刊

昭和 45 年 12 月	財団法人京都スポーツ振興会（改組） 会長 千 宗室氏就任
昭和 46 年 7 月 27 日	財団法人京都府体育協会発足 会長 湯浅佑一氏
昭和 46 年 10 月	財団法人京都府体育協会発足祝賀会（京都ホテル） 加盟団体 43 団体（競技団体 33 学校体育団体 2 市町村体育団体 8）
昭和 46 年 11 月	機関紙「体協時報」創刊 スポーツ指導員養成講習会開催
昭和 46 年 12 月	京都府体育協会表彰規定制定
昭和 47 年 2 月	京都府体育協会表彰挙行
昭和 48 年	スポーツ指導員（84 名）誕生
昭和 49 年	日独スポーツ少年団同時交流開始 （京都府：ニーダーザクセン）
昭和 51 年 10 月～	府民体育大会実施
昭和 53 年 4 月	財団法人京都府体育協会 50 周年記念式典 祝賀会（京都ホテル） 加盟団体 57 団体（競技団体 39 学校体育団体 2 市町村体育団体 16）
昭和 53 年 9 月	府民総合体育大会（第 1 回）開会式挙行 （西京極陸上競技場）
昭和 54 年 3 月	「京都府体育協会史」発刊 （京都府体育協会創設 50 周年記念）
昭和 54 年	国民体育大会京都府選手団ユニフォーム改定
昭和 55 年	国民体育大会京都府選手団ユニフォーム改定
昭和 57 年 4 月	附属長田野体育館開館
昭和 58 年 4 月	府民総合体育大会（3 部制に改革）開会式・体協表彰式挙行（府立体育館）
昭和 59 年 2 月	京都府スポーツ少年団創設 20 周年記念式典（国立京都国際会館）
昭和 61 年 8 月	第 41 回国民体育大会近畿地区大会京都府開催
昭和 63 年 4 月	国民体育大会京都府選手団新ユニフォーム制定
昭和 63 年 9 月 4 日	第 43 回国民体育大会夏季大会開会式（山城総合運動公園プール）
昭和 63 年 10 月 15 日	第 43 回国民体育大会秋季大会開会式（西京極陸上競技場）
昭和 63 年 10 月 29 日	全国身体障害者スポーツ大会開会式（西京極陸上競技場）
昭和 63 年 11 月	「京都国体」総合優勝を祝う創設 60 周年記念式典（全日空ホテル）
平成元年 6 月	府民総合体育大会を市町村対抗競技及びオープン競技に改正
平成元年 7 月	会長 藤田静夫氏（第 12 代）名誉会長 湯浅佑一氏就任
平成元年 10 月	府民総合体育大会開会式（山城総合運動公園体育館）

平成元年 11 月	ポスト国体検討委員会、 「21 世紀を展望した本府スポーツ振興について」（建議）
平成元年 12 月	府民総合体育大会市町村対抗競技表彰式（大谷ホール）
平成 2 年	財源確保のため賛助会員制度発足
平成 4 年 8 月	第 47 回国民体育大会近畿地区大会京都府開催
平成 6 年 3 月	「体育協会史」発刊（京都府体育協会創設 65 周年記念）
平成 10 年 5 月	会長 小谷隆一氏（第 13 代）就任
平成 10 年 7 月	名誉会長 藤田静夫氏就任
平成 10 年 8 月	第 53 回国民体育大会近畿地区大会京都府開催
平成 12 年 2 月	府民総合体育大会開催基準要綱改正、市町村対抗、オープン競技 に市町村交流種目を追加
平成 12 年 3 月	府スポーツレクリエーション祭開会式（亀岡市民体育館） 府スポーツ少年団リーダー会設立総会（府スポーツセンター）
平成 12 年 10 月	第 23 回府民総合体育大会市町村交流種目 2 種目実施
平成 12 年 11 月	京都府体育協会表彰規程の改訂
平成 13 年 2 月	府スポーツ少年団 活性化検討特別委員会「21 世紀のスポーツ少年団の在り方について」（提言）
平成 13 年 10 月	第 43 回健康体力づくり運動推進全国大会・第 24 回京都府民総合体育大会開会式（亀岡市民体育館）
平成 14 年 7 月	医・科学室事業「健康教室（夏の教室）」開催
平成 16 年 2 月	スポーツオーガナイザー養成講座を実施
平成 16 年 3 月	京都府スポーツ少年団創立 40 周年記念式典を挙行
平成 16 年 5 月	地域スポーツクラブ育成特別委員会の設置
平成 16 年 12 月	京都府広域スポーツセンター開設
平成 17 年 7 月	会長 梶岡義明氏（第 14 代）就任
平成 18 年 2 月	京都スポーツスペシャル開催
平成 19 年 3 月	市町村合併により、加盟市町村体育団体数が 26 となる
平成 21 年 3 月	創設 80 周年記念講演会開催、80 周年記念誌発刊
平成 24 年 4 月	名称を公益財団法人として変更後、設立登記
平成 25 年 6 月	会長 武田暹氏(第 15 代)就任
平成 25 年 11 月	京都府スポーツ少年団創立 50 周年記念式典を挙行
平成 26 年 4 月	府民総体にマスタース部門を創設（11 競技）
平成 27 年 3 月	京都府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会創立 10 周年記念式典を挙行（京丹後市）
平成 27 年 4 月	府民総体マスタース部門を拡大（13 競技）

平成 28 年 4 月	府民総体マスタースポーツ部門を拡大 (22 競技)
平成 29 年 4 月	府民総体マスタースポーツ部門を拡大 (23 競技)
平成 29 年 10 月	プレミアムサタデー in Kyoto を初開催 (西京極総合運動公園)
平成 30 年 8 月	日韓青少年夏季スポーツ交流 (派遣) を実施
平成 31 年 3 月	「体育協会史-創設 90 周年記念-」 発刊
平成 31 年 3 月	公益財団法人京都府体育協会創設 90 周年記念式典・記念祝賀関係者懇談会を開催。 (京都プライトンホテル)
平成 31 年 4 月	公益財団法人京都府スポーツ協会へ名称変更 公益財団法人京都府スポーツ協会除幕式を開催 (京都テルサ)
令和元年 5 月	ホームページをリニューアル
令和元年 6 月	会長 山田啓二氏(第 16 代)就任、名誉会長 武田暹氏就任
令和元年 8 月	日韓青少年夏季スポーツ交流 (派遣)・(受入) を実施
令和 2 年 4 月	スポーツ・インテグリティ向上委員会の設置
令和 3 年 6 月	会長 西脇隆俊氏 (第 17 代) 就任、名誉会長 山田啓二氏就任
令和 4 年 3 月	京都府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 解散
令和 4 年 4 月	府民総体 会長杯 (町村対抗) 開始
令和 4 年 6 月	京都府広域スポーツセンター京都府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 設立